

報告第11号

豊岡まちづくり株式会社第22期の決算及び第23期の事業計画に関する
書類について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のと
おり報告する。

平成29年6月2日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

豊岡まちづくり株式会社経営状況説明書

平成29年5月30日

豊岡まちづくり株式会社

事業報告

第22期

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

兵庫県豊岡市大磯町1番79号

豊岡まちづくり株式会社

第22期（平成28年度）事業報告

事業概況

平成28年度につきましては景気動向が改善に向け足踏み状況にあるとの中、地場におきましてはより一層の厳しい景況感を感じた1年でありました。城崎におきましてはインバウンドが増え観光客数が前年度を上回る状況と聞いておりますが、豊岡の商店街におきましては、訪問客のほとんどが日本人観光客ということでインバウンド増の影響は少なく、また、城崎からの観光客の誘引が充分でないこともあり、商店街での観光客の流れの減少を感じております。

今年度の当社の事業としましては、アルチザン事業ではショップ販売のアトリエ部門、靴職人養成スクールのスクールⅠ部門、企業社員向け財布革小物講座のスクールⅡ部門、そして豊岡市の委託業務であります学校給食配送事業の学校給食配送部門の2事業4部門となりました。

アトリエショップにおきましては、年度当初好調な売り上げでスタートしましたが、夏頃より売上の鈍化傾向が目立つようになってきました。秋の大型連休につきましても例年ほどの連休とはならず、また、冬の大雪による観光客の出控えも影響し、来客数は前年度より500人減少し17,500人となりました。

ショップ内での対応は、50歳代から60歳代の夫婦のお客が多く、オリジナルブランドであるベルチェントのレディースバッグの新作や薄革の多機能バッグなどの投入と、若い男性客に根強い人気のビジネスバッグの品揃えによって商品展開をし、正月の福袋企画などで顧客ニーズも喚起して販売に繋げて参りました。また、今年度よりネット販売を重点施策として取り組み、売上としてはまだ少額ではありますが着実にショップ販売でのウェイトを増やしております。豊岡靴デパート催事と共に販売での売上だけでなく、全国に向けての「豊岡カバンのアルチザン」を認知して頂く為の広報宣伝活動の役割も担っております。

アルチザンスクールにつきましては、平成28年度の入学生は栃木県や大阪府など全員が但馬外からで、8名の生徒が1年間靴漬けの生活を送りました。その内7名がⅠターンとして豊岡に残り、7社の靴企業へ就職をしました。講師陣は匠の腕を持つ専任の講師と、革小物の製作やデッサンを担当する東京からの講師の2名で、新しい視点を取り入れた靴作りを教えて頂きました。その他社員コースとして「靴を皮革でまとめる」講座や特別講師による「サイフビジネスの現状」講座など17講座、延68名の企業社員の方に参加して頂きました。

また、国の助成金を利用した市の「革製靴・革小物生産能力育成業務」の委託事業が今年度本格的に始まりました。これは、生産拠点が少なくなっている財布製造について、豊岡の靴産業の中で、新しい産業として根付いてほしいとの思いから始めたものです。この財布小物の講座は、東京より財布造りの講師を招き、靴縫製者トレーニングセンターの教室を借りて行ないました。企業より派遣された受講生11名が新しい技術を身に付けようと7ヶ月間必死に取り組み、3月24日には製作展示会を稽古堂で開催しその成果を披露しました。

その他、3月26日には当スクールを利用して豊岡で初めて、日本靴ハンドバッグ協会主

催の技術認定試験が行われました。

豊岡市の委託業務であります学校給食配送事業につきましては、3年契約の第2年度となりまして、前年度の第1年度が8月からの開始で委託期間8ヶ月でありましたが、今年度は1年間となり市内の小学校6校、中学校3校へ遅滞なく安全無事故で届けることが出来ました。

部門別業績状況

アルチザン事業アトリエ部門の4月5月は前年を上回り好調なスタートを切りましたが、その後、全般に対前年を下回る月が多くなり、ショップ販売の苦戦が続きました。観光案内所へのチラシ配布や、城崎の旅館などへの販売促進品であるカバンストリート宣伝うちわの持ち込み等で商店街への観光客誘引を行いました。また、接客顧客からのニーズ把握による購買動向を商品ラインナップに反映させると共に、ディスプレイ等で販売相乗効果を上げて対応していきました。そして、今期は店舗での直販の他、アトリエ部門のもう1つの柱として育てるべくネット販売を充実させていき、アトリエ売上高の5.3%を占めて3,578千円となりました。

今期の純売上高は対前年70,489千円に對しまして1,845千円減(2.6%減)の、68,644千円となりました。事業計画売上高73,632千円に對しましても4,987千円減(6.8%減)と下回りました。また、売上原価は38,597千円、販売費及び一般管理費は前年度とほぼ同額の26,758千円となり、営業利益は対前年3,668千円減の3,287千円となりました。

アルチザン事業スクールⅠ部門は定員の10名の合格者でスタートする予定でしたが、入学直前家庭の事情により2名の辞退者が出て前年度より1名少ない8名となり、スクールの収入減になっております。この定員減で空いたミシン等を使い社員コース講座を増やして収入増を図りました。

よって、スクール生による授業料等の収入は9,388千円となり、企業の社員を対象にした社員コースの収入は1,004千円で、スクールⅠ部門の純売上高は対前年1,182千円減(10.2%減)、対計画210千円増(2.1%増)の10,392千円となりました。販売費及び一般管理費は対前年698千円減(6.2%減)の10,642千円となり営業利益は△249千円となりました。

アルチザン事業スクールⅡ部門は市の委託業務の「豊岡市革製鞆・革小物生産能力育成」業務の第2年度で、準備期間が必要な為9月からの開始となりました。収入は市の委託料12,077千円と企業からの講座参加料2,833千円となりました。純売上高は前年度の第1年度におきましては業務委託期間が3ヶ月の1,462千円でしたので、今年度は対前年13,447千円増(919.8%増)の14,910千円となりました。販売費及び一般管理費は東京からの講師2名の費用、教材費等の支出で13,212千円となり、営業利益は1,698千円となりました。

学校給食配送事業給食配送部門につきましては、3年間の業務期間の第2年度となり、開始年度の前年度は8月より7ヶ月間の業務委託で受託料7,000千円でしたが、今年度は1年間となり受託料は11,500千円となりました。よって純売上高は対前年4,500千円増(64.3%増)の11,500千円となりました。学校給食配送は4台の給食配送車を使用し、12名のパート従業員によって市内小中学校へ給食を配送しました。今期も1年間遅配等のトラブルもなく、安全運転を徹底して無事故で終えることが出来ました。

販売費及び一般管理費では受託期間が伸びたことによる人件費や車輛賃借料の増と車検費用負担による車両管理費増により対前年3,778千円増(56.9%増)の10,422千円となり、営業利益は対前年721千円増(202.8%増)の1,077千円となりました。

総合業績状況

事業全体では、今期はアトリエ部門とスクールI部門で売上が減となりましたが、スクールII部門と学校給食配送部門の事業期間伸長による売上増があり、純売上高は対前年14,920千円増(16.4%増)の105,447千円と1億円を超えました。しかし、売上原価、販売費及び一般管理費の増があり、営業利益は対前年1,775千円減(23.4%)の5,814千円となりました。また、雑収入として日本皮革産業連合会及びハローワークなどの補助金収入が4,088千円あり、経常利益は対前年3,060千円減(23.7%減)の9,861千円となりました。税引前当期純利益も同じく9,861千円となり、前年度で税務上累積欠損金が解消された為、当期純利益が全額課税対象となり、法人税、住民税及び事業税が2,737千円となりました。よって、税引後の当期純利益は対前年4,735千円減(40.0%減)の7,124千円の黒字となり、繰越利益剰余金の累積赤字額18,880千円が11,756千円に縮小改善されました。

事業につきましては、ショップ直販の苦戦はありましたが、ネット販売業務の本格的立上げを行い販売業務の多層化を図りました。ただ、ショップ直販業務はアルチザン事業の要であり、事業コンセプトそのものでありますので、更に確固たる店舗創りに努力して参ります。また、スクール事業におきましても、着実に生徒が育ち豊岡のカバン企業などで活躍しております。財布革小物講座の新規取組みも社員の方々が熱意を持って学び、経営者の方の思いを企業へ根付かせようと頑張っており参ります。

アルチザン事業を立ち上げて3年が経ち、カバンによる街づくりは周りの商店街や靴店舗の皆様と歩みを積み重ねております。これも株主の皆様や関係各位の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げます。来期はアルチザン事業も4年目になり、足元を見つめ直し、更なる方向性を見定めて前進させる段階に入っていると考えます。そのことを踏まえ、来期におきましても各事業共業績向上を目指し、役職員一丸となって邁進して参ります。

以上

事業（営業）報告資料

1. 事業（営業）実績

◇売上高の推移

(単位:千円)

区 分		第19期	第20期	第21期	第22期
アルチザン事業		1,870	66,137	83,526	93,947
内訳	アトリエ	1,870	58,294	70,489	68,644
	スクール	—	7,842	13,037	25,303
かばん販売事業		1,534	1,324	—	—
朝市事業		—	—	—	—
駐車場事業		183	—	—	—
学校給食配送事業		12,829	13,844	7,000	11,500
合 計		16,417	81,306	90,526	105,447

◇営業成績の推移

(単位:千円)

区 分	第19期	第20期	第21期	第22期
営業利益	△12,578	△234	7,589	5,814
経常利益	△5,688	4,175	12,922	9,861
当期純利益	△262	3,964	11,859	7,124
総資産	122,893	72,699	86,812	101,928
純資産	57,095	61,059	72,919	80,043

2. 会社の概要（現況）

(1) 資本金

資 本 金	91,800千円
-------	----------

(2) 株式の状況

発行済株式総数	1,836株
内 豊岡市保有分	918株
内 豊岡商工会議所保有分	502株

(3) 役員の状況

	役 職 名	役 員 名
1	代表取締役	ゆり　　そうたろう 由利　　總太郎
2	取 締 役	あさひ　けんじ 朝日　健司
3	取 締 役	いのうえ　たかとし 井上　隆俊
4	取 締 役	いわした　しょういち 岩下　省　一
5	取 締 役	う　の　　たかや 卯野　隆也
6	取 締 役	きぬがわ　かつのり 衣川　克典
7	取 締 役	き　わ　だ　やすし 木和田　泰司
8	取 締 役	はしもと　かずのり 橋本　和則
9	取 締 役	さとう　よしき 佐藤　芳樹
10	取 締 役	はしもと　たかふみ 橋本　隆史
11	取 締 役	やまさき　としゆき 山崎　俊幸
12	監 査 役	うぎた　まさひこ 浮田　昌彦
13	監 査 役	すぎもと　まさのり 杉本　正憲

(4) 社員（従業員）の状況

区 分	人数	構成
社 員	4	男　4名、女　1名
パート	14	男　12名、女　2名
合 計	19	

貸 借 対 照 表

平成 29年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 83,222,312】	【流 動 負 債】	【 14,925,304】
現 金 ・ 預 金	66,766,732	買 掛 金	4,781,156
売 掛 金	8,771,655	未 払 費 用	48,913
商 品 ・ 製 品	6,141,593	未 払 金	333,374
材 料	818,988	未 払 法 人 税 等	2,210,000
貯 蔵 品	694,994	未 払 消 費 税 等	1,043,500
仮 払 金	115,350	前 受 金	6,306,000
貸 倒 引 当 金	△87,000	預 り 金	202,361
【固 定 資 産】	【 18,706,682】	【固 定 負 債】	【 6,959,781】
[有 形 固 定 資 産]	[13,826,218]	長 期 未 払 金	6,959,781
建 物	212,062		
建 物 附 属 設 備	12		
構 築 物	1	負 債 合 計	21,885,085
車 両 運 搬 具	313,008	純 資 産 の 部	
工 具 器 具 備 品	13,000,334	【株 主 資 本】	【 80,043,909】
土 地	300,801	[資 本 金]	[91,800,000]
[無 形 固 定 資 産]	[1,600,604]	[利 益 剰 余 金]	[△11,756,091]
ソ フ ト ウ ェ ア	1,300,668	(その他利益剰余金)	(△11,756,091)
電 話 加 入 権	299,936	繰 越 利 益 剰 余 金	△11,756,091
[投 資 そ の 他 の 資 産]	[3,279,860]	(うち当期純利益)	(7,124,756)
出 資 金	30,200		
保 証 金	3,240,000	純 資 産 合 計	80,043,909
長 期 前 払 費 用	9,660		
資 産 合 計	101,928,994	負 債 ・ 純 資 産 合 計	101,928,994

損 益 計 算 書

自 平成 28年 4月 1日

至 平成 29年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【純 売 上 高】		
アルチザン事業収入	93,947,445	
学校給食配送事業収入	11,500,000	105,447,445
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	4,508,081	
仕 入 高	41,050,245	
合 計	45,558,326	
期 末 棚 卸 高	6,960,581	38,597,745
売 上 総 利 益		66,849,700
【販売費及び一般管理費】		61,035,099
営 業 利 益		5,814,601
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	7,223	
受 取 配 当 金	600	
雑 収 入	4,088,647	4,096,470
【営 業 外 費 用】		
雑 損 失	49,093	49,093
経 常 利 益		9,861,978
税引前当期純利益		9,861,978
法人税、住民税及び事業税		2,737,222
当 期 純 利 益		7,124,756

販売費及び一般管理費

自 平成 28年 4月 1日

至 平成 29年 3月31日

(単位: 円)

科 目	金 額	
給 料 手 当	25,208,878	
業 務 委 託 費	10,964,775	
法 定 福 利 費	2,613,684	
福 利 厚 生 費	266,922	
広 告 宣 伝 費	1,239,187	
運 賃	353,825	
旅 費 交 通 費	1,090,760	
交 際 費	614,575	
会 議 費	80,875	
車 輜 管 理 費	1,655,826	
通 信 費	313,360	
水 道 光 熱 費	1,370,023	
租 税 公 課	813,350	
消 耗 品 費	2,041,622	
事 務 費	1,442,579	
賃 借 料	324,079	
車 輜 賃 借 料	1,417,779	
保 険 料	749,143	
支 払 手 数 料	2,938,200	
負 担 金	236,215	
減 価 償 却 費	2,298,927	
リ ー ス 料	174,000	
寄 附 金	6,000	
教 材 費	2,297,963	
雑 費	497,552	
貸倒引当金繰入	25,000	61,035,099
合 計		61,035,099

部 門 別 損 益

自平成28年 4月 1日 至平成29年 3月31日

(単位：円)

	総 合 計	アルチザン・ アトリエ部門	アルチザン・ スクール部門	学校給食配送 事 業 部 門
I 売 上 高	105,447,445	68,644,330	25,303,115	11,500,000
II 売 上 原 価	38,597,745	38,597,745	0	0
III 売 上 総 利 益	66,849,700	30,046,585	25,303,115	11,500,000
IV 販売費及び一般管理費	61,035,099	26,758,761	23,854,251	10,422,087
V 営 業 利 益	5,814,601	3,287,824	1,448,864	1,077,913

株主資本等変動計算書

自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日
(単位：円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利 益 剰 余 金		株主資本合計	
		繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	91,800,000	△ 18,880,847	△ 18,880,847	72,919,153	72,919,153
当期変動額					
当期純利益		7,124,756	7,124,756	7,124,756	7,124,756
当期変動額合計	0	7,124,756	7,124,756	7,124,756	7,124,756
当期末残高	91,800,000	△ 11,756,091	△ 11,756,091	80,043,909	80,043,909

個 別 注 記 表

自 平成 28年 4月 1日

至 平成 29年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

2. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について
法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引
については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 4,751,370円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

普通株式 当期末発行済株式数 1,836株

5. その他の注記

(1) 国庫補助金等で取得した固定資産について、取得価額から次の圧縮記帳額を
控除しております。

土地	26,066,398円
建物	71,248,946円
建物附属設備	25,744,945円
その他固定資産	19,711,283円
計	142,771,572円

監査報告書

豊岡まちづくり株式会社 様

監査の結果

私監査役は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第21期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

尚、当会社の監査役は、定款第4条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されている為、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の状況を聴取し、会計に関する重要書類等を閲覧致しました。また、会計帳簿又はこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書）及びその附属明細書について検討致しました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適法かつ正確に表示しているものと認めます。

平成29年5月9日

監査役

浮田 昌彦

杉本 正晃

第 23 期（次期）事業計画及び収支計画

平成 29 年度の当社事業は昨年に引き続き、アルチザン事業のアトリエ（ショップ）部門とスクールⅠ部門、スクールⅡ部門そして学校給食配送事業部門の 2 事業 4 部門となります。

◇アトリエにつきましては

平成 28 年度は 9 月の連休日が短く、冬の大雪によるお客様の出控え等もあり、お客様のご来店が少なくなりました。また、全般を通じましてカバンストリートの賑わいは今一つであった様に感じております。その中、ショップにおきましては、ご来店者のリサーチにより、顧客ニーズや観光客の動向の把握などを行い、絶えず商品展示クオリティーを高め販売に繋げて参りました。

平成 29 年度におきましては、アルチザンがオープンして 4 年目に入ります。鞆愛好家の方には広く認知もして頂き豊岡カバンの良さを知って頂いておりますが、更にもう一回り広い顧客層を取り込み、アルチザンの評価をより確固たるものにして参ります。

その為に前年度より力を入れておりますインターネット販売におきまして、7 月頃にオンラインストアのリニューアル及び大手ショッピングモールへの出店を行ない、ネット販売を大幅に拡充します。そして、豊岡鞆を含めた豊岡のカバンを新たにネット掲載し、販売と共に広報を兼ねてアルチザンへのお客様の誘引を行います。

アトリエ部門売上におきましては、大きくショップ直販売上とネット販売売上がありますが、ネット販売につきましては売上高を 12,922 千円と見込み、アトリエ部門の純売上高を対前年 9,542 千円増（13.9%増）の 78,186 千円と見込んでおります。また、販売費及び一般管理費はネット関連のイニシャルコストとランニングコスト、及びネット販売への人員配置による代替人員の補充による増で対前年 5,731 千円増の（21.4%増）の 32,503 千円と見込み、営業利益を 1,971 千円と想定しております。

◇スクールⅠにつきましては

平成 28 年度のスクールの生徒は 8 名で、内 7 名が豊岡の鞆企業などへ就職しました。平成 29 年度の入学生は 10 名で、U ターン 1 名を含めて全員が愛知県や福岡県など地元外から豊岡へやって来る生徒です。それぞれ、鞆に対する熱い思いを秘め、鞆漬けの 1 年を送ることになると思います。講師は豊岡出身の専任講師に、東京よりお招きしたデッサン・デザインを教えて頂く短期特別講師、また平成 28 年度卒業生を 1 名講師補助として採用して、合せて 3 名の講師とその他の臨時講師で鞆作りを一から教えて行きます。

収益につきましては、授業料等収入は前年より生徒が 2 名増となり 11,111 千円となり、社員コースの参加料収入は 926 千円を見込んでおり、合わせて対前年 1,644 千円増（15.8%増）の 12,037 千円と見込んでおります。販売費及び一般管理費は前年とほぼ同額の 10,672 千円と見込み、営業利益は 1,365 千円と想定しております。

◇スクールⅡにつきましては

平成 28 年 1 月から始めております豊岡市の委託業務であります「革製鞆・革小物生産能力育成業務」の財布革小物講座を前年度は 15 回に亘り、東京より財布作りの職人を講師としてお呼びし開催致しました。鞆産業の中に財布革小物の技術が根付き一つの産業に育つことを期待し講座を開催しております。平成 29 年度は第 3 年度になり、基礎的講座と合せて一段階上の実践講座も開催し、9 名の企業社員の方に技術を身に付けて自社に持ち帰ってもらうべく講座を組んでおります。収益としましては、豊岡市からの委託料 12,083 千円と講座参加料 3,820 千円の合計 15,903 千円を見込んでおります。販売費及び一般管理費は講師の報酬、旅費交通費が費用の中心で、前年度より 405 千円減(3.1%減)の 12,811 千円と見込んでおります。よって、営業利益は 3,092 千円になると想定しております。

◇学校給食配送につきましては

前年度と同じく年間給食配送日 194 日で委託料は 11,500 千円となっております。販売費及び一般管理費は車両管理費等が若干増えると見ており、対前年 333 千円増(3.2%増)で 10,755 千円を見込んでおります。よって営業利益は 745 千円と想定しております。

車両につきましては日々のメンテナンスを徹底し、配送スタッフとの連絡を密にして車両管理を行なっていますが、各車両共経年劣化が進み修理費の膨らみが心配されます。それにより収益も大きく左右されてきますので管理を徹底し無事故で運行を行い無駄な出費を抑えると共に、安心安全に給食を生徒児童へ届けることに専心致します。

◇総合収支計画

純売上高はアトリエ売上におきましては、ネット売上で対前年 9,343 千円増(361.1%増)を目指しており、また、スクールⅠ、スクールⅡでも売上増を見込み、全体では 12,179 千円増(11.5%増)の 117,626 千円を想定しております。

売上原価は対前年 5,114 千円増(13.2%増)の 43,712 千円と見込み、販売費及び一般管理費は対前年 5,706 千円増(9.3%増)の 66,741 千円と見込んでおります。よって、営業利益は対前年 1,359 千円増(23.3%増)の 7,173 千円と想定しております。

また、営業外収益としまして、スクールⅡの財布革小物製作講座へ日本皮革産業連合会より補助金 1,500 千円を頂いており、その他の雑収入を含めまして 1,936 千円を想定しております。そして、経常利益は対前年 752 千円減(7.6%減)の 9,109 千円を想定しております。税引前当期純利益につきましても同じく 9,109 千円と想定しております。

アルチザン事業も、新規オープン時の勢いを持って順調に推移して参りましたが、経営的にはまだ確固とした事業とはなっておりません。4 年目を迎え柔軟な発想の下、新たな方向性を求める時期に入っているものと認識しております。幸い、カバン業界や各商店街振興組合、行政等の皆様のご支援により、国の方でも地域創生の成功例として認知して頂

いていると伺っております。また、東京など全国の靴産地では、アルチザンショップやアルチザンスクールを含めて、豊岡の靴業界での一体の試みと評価されていると聞いております。カバンによる街づくり事業も一定の評価を頂いたものと受け止めております。また、このアルチザンがショップやスクールを通して、今後も靴企業の皆さんの交流の場になればと願っております。

学校給食事業におきましても、学校給食センター様と連携をさせて頂きながら、今までの蓄積されたノウハウを持って安心安全に努め、児童、生徒の皆さんの健康に寄与出来るよう頑張っております。

平成 29 年度におきましても、絶えず問題意識を持ち続け業績向上に向けて邁進して参りますので、ご指導ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

以上

第23期(平成29年度)収支事業計画

豊岡まちづくり株式会社

税抜(千円)

科 目	第22期	第23期						備 考
	総 合	対第22期 増減	総合(合計)	アルチザン アトリエ部門	アルチザン スクールⅠ 部門	アルチザン スクールⅡ 部門	給食配送 部門	
純売上高	105,447	12,179	117,626	78,186	12,037	15,903	11,500	
売上原価	38,598	5,114	43,712	43,712				
販売管理費	61,035	5,706	66,741	32,503	10,672	12,811	10,755	
内 訳	給料手当	25,209	1,963	27,172	14,270	3,536	2,505	6,861 アトリエ1名、6月より増員予定
	業務委託費	10,965	-2,128	8,837	300	3,448	5,089	0 スクールは講師報酬
	法定福利費	2,614	291	2,905	2,870	0	0	35 社会保険料、労働保険料等
	広告宣伝費	1,239	2,122	3,361	3,019	300	0	42 ネットショップ広告、進学ナビ他
	消耗品費	2,042	-172	1,870	1,340	125	400	5 ショップ用袋、チラシ他
	事務費	1,443	48	1,491	1,190	236	0	65 税理士顧問料他
	車両管理費	1,656	280	1,936	215	4	0	1,717 車検代、燃料代
	車両等賃借料	1,418	-1	1,417	0	0	0	1,417 給食配送車両豊岡市より賃借
	その他	14,449	3,303	17,752	9,299	3,023	4,817	613 支払手数料、水道光熱費他
営業利益	5,814	1,359	7,173	1,971	1,365	3,092	745	
営業外収益	4,096	-2,160	1,936	436		1,500		スクールⅡ皮産連補助金
営業外費用	49	-49	0					
経常利益	9,861	-752	9,109	2,407	1,365	4,592	745	
特別利益	0	0	0					
特別損失	0	0	0					
税引前純利益	9,861	-752	9,109	2,407	1,365	4,592	745	

報告第 12 号

一般社団法人豊岡観光イノベーション第 1 期の決算及び第 2 期の事業
計画に関する書類について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙のと
おり報告する。

平成 29 年 6 月 2 日

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

一般社団法人豊岡観光イノベーション

一般社団法人豊岡観光イノベーション 第1期 事業報告

事業の概要と成果

当法人は、「観光まちづくりの観点から、当該地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域の魅力を再編集して、地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済の活性化に寄与することを目的」に平成28年6月1日に設立しました。

7月には、旅行業第3種に登録し、英語版宿泊予約サイト「Visit Kinosaki」の運営や旅行商品の企画・販売に取り組んでまいりました。

「Visit Kinosaki」につきましては、コンテンツ、デザインの改善を継続的に行うとともに、WEB広告を活用し、海外からのアクセスは、平成28年4月に28,302ページビュー（月間）だったものが、平成29年3月には60,445ページビュー（月間）と、約2.1倍に増加、宿泊予約も下半期は延べ440人泊と上半期の258人泊と比べ約1.7倍となっており、順調に成果を挙げてきています。

地元事業者の積極的な参加を促すためにも、TTIが先行して6種類の着地型ツアーを造成しました。特に「1日1組限定の但馬空港まるごと見せちゃいます企画」は、NHKニュースの特集や、雑誌メディアにも取り上げられ人気商品となり、但馬空港の知名度アップに貢献しました。

また、タイからの誘客と大手代理店によるツアー造成を目指し、現地旅行会社と連携したモニタリングツアーの企画や、シンガポールからの誘客を目指し、観光庁長官表彰を受賞した有力代理店の視察の受け入れを行いました。

また、海外向けへの営業活動として、ロンドン、バンコク、シンガポール、台湾、東京で開催された旅行博や商談会に参加し、いずれの対象国からの宿泊数も順調に増加しています。

結果、平成28年1月から12月の市内の外国人宿泊者数は44,648人泊と対前年比130.1%を達成することができました。

その他にも、地元事業者や観光協会の意識改革・基盤強化に繋がる各種セミナーの開催、視察受入、英語フリーペーパーの発行、豊岡市と共同でビックデータを活用した観光客の移動分析などに取り組んでまいりました。

損益状況は、営業損失3,330千円、営業外収益199千円となり、当期経常損失は3,131千円、税引後の当期純損失は、3,199千円でした。

関係者の皆様方の暖かいご支援、ご協力をいただき役員・職員日々業務に取り組ましました。

一般社団法人豊岡観光イノベーション 組織概要

1. 設立日

平成28年6月1日（水）

2. 社員

豊岡市

WILLER株式会社

全但バス株式会社

株式会社但馬銀行

但馬信用金庫

3. 役員

理事長 中貝 宗治

副理事長 真野 毅

事業本部長 田辺 茂

理 事 村瀬 茂高

桐山 徹郎

倉橋 建

宮垣 健生

武田 和徳

大社 充

上田 篤

監 事 作花 良祐

4. 事業本部職員

事業本部長（理事）1名

派遣職員 4名

嘱託・臨時職員 2名

5. 基金拠出額

28,700 千円

決 算 報 告 書

第 1 期

自 平成 28年 6月 1日

至 平成 29年 3月31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

豊岡市大磯町1番79号

但馬地域地場産業振興センター5階

貸 借 対 照 表

平成 29年 3月31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部

I 流 動 資 産

1 現 金	17,865
2 預 金	16,187,771
3 売 掛 金	147,469
4 未 収 入 金	<u>10,668,280</u>

流動資産合計

27,021,385

II 固 定 資 産

1 有 形 固 定 資 産

1 一 括 償 却 資 産	<u>271,364</u>
有形固定資産合計	271,364

2 無 形 固 定 資 産

1 ソ フ ト ウ ェ ア	<u>773,334</u>
無形固定資産合計	773,334

3 投 資 そ の 他 の 資 産

1 差 入 保 証 金	<u>3,000,000</u>
投資その他の資産合計	<u>3,000,000</u>

固定資産合計

4,044,698

資 産 合 計

31,066,083

負 債 の 部

I 流 動 負 債

1 未 払 金	3,344,295
2 未 払 法 人 税 等	68,300
3 預 り 金	6,157
4 仮 受 金	<u>2,146,680</u>

流動負債合計

5,565,432

負 債 合 計

5,565,432

純 資 産 の 部

I 純 資 産

1 基 金	<u>28,700,000</u>
-------	-------------------

28,700,000

2 利 益 剰 余 金

(1) そ の 他 利 益 剰 余 金

1 繰 越 利 益 剰 余 金	<u>△3,199,349</u>
-----------------	-------------------

利益剰余金合計

△3,199,349

純 資 産 合 計

25,500,651

純 資 産 合 計

25,500,651

負債・純資産合計

31,066,083

損 益 計 算 書

自 平成 28年 6月 1日
至 平成 29年 3月31日

(単位：円)

I 純 売 上 高			
1 VisitKinosaki手数料	233,397		
2 ツ ア ー 売 上 高	472,500		
3 視 察 売 上 高	1,699,243		
4 ふるさと納税売上高	35,200		
5 委 託 料 収 入	1,058,800		
6 会 費 収 入	1,010,000		
7 市 補 助 金 収 入	13,200,000		
8 国 県 等 補 助 金 収 入	5,180,658	22,889,798	
II 売 上 原 価			
1 視 察 関 連 経 費	614,235		
2 ツ ア ー 関 連 経 費	343,295	957,530	
売 上 総 利 益			21,932,268
III 販売費及び一般管理費			
1 給 料 手 当	1,266,386		
2 賞 与 手 当	273,600		
3 法 定 福 利 費	179,826		
4 福 利 厚 生 費	131,540		
5 広 告 宣 伝 費	2,235,946		
6 旅 費 交 通 費	2,680,758		
7 交 際 費	173,090		
8 会 議 費	171,322		
9 車 両 費	16,729		
10 通 信 費	432,055		
11 水 道 光 熱 費	89,790		
12 租 税 公 課	98,290		
13 消 耗 品 費	1,648,107		
14 賃 借 料	413,100		
15 リ ー ス 料	325,782		
16 保 険 料	239,260		
17 支 払 手 数 料	1,616,263		
18 諸 会 費	51,350		
19 新 聞 図 書 費	5,508		
20 減 価 償 却 費	131,036		
21 委 託 費	12,988,800		
22 雑 費	93,924	25,262,462	
営 業 損 失			3,330,194
IV 営 業 外 収 益			

1 受	取	利	息	171								
2 雑	収	入		<u>199,000</u>	<u>199,171</u>							
	経	常	損	失	<u>3,131,023</u>							
	税	引	前	当	期	純	損	失	3,131,023			
	法	人	税、	住	民	税	及	び	事	業	税	<u>68,326</u>
	当	期	純	損	失				<u>3,199,349</u>			

個 別 注 記 表

自 平成 28年 6月 1日
至 平成 29年 3月31日

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 固定資産の減価償却の方法
 - 有形固定資産・・・定率法
 - 無形固定資産・・・定額法
 - (2) 消費税等の会計処理
 - 消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

別紙の通り報告致します。

平成 29年 5月24日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

代表理事

中 貝 宗 治

理 事

真 野 毅

理 事

田 辺 茂

理 事

村 瀬 茂 高

理 事

桐 山 徹 郎

理 事

倉 橋 建

理 事

宮 垣 健 生

理 事

武 田 和 徳

理 事

大 社 充

理 事

上 田 篤

別紙監査の結果、適法正確である事を認めます。

平成 29年 5月18日

監 事

作 花 良 祐

一般社団法人豊岡観光イノベーション 第2期 事業計画

事業計画案

2期目の取組方針としましては、地域の事業者と連携し、顧客ニーズに基づいた新たな切り口の商品開発を行い、小さくても成功事例を積み上げることにより、事業者による自発的な仕組み作りを促します。また、インバウンド顧客を握っている国内外のランドオペレーターやパイプ機能を持つ組織・個人を発掘し、当社商品や観光資源の販売促進を行います。

英語版宿泊予約サイト「Visit Kinosaki」につきましては、各旅館からの部屋出し率の向上並び通年予約プランの作成を促します。また城崎温泉以外の地域・施設については、更なる登録の拡大を図り、サイトの充実度を高めます。

旅行商品企画・販売につきましては、地域内周遊を進めるため、パートナー事業者を発掘し、自主的な着地型ツアー造成を促します。企画にあたっては、外国人目線を活用し、外国人から見て魅力的なツアー造成に取組みます。販売を強化するため、「Visit Kinosaki」以外のサイトでの販売も検討します。

流通事業者とのパイプを作るため、海外FITまたは富裕者層向けのプランニングを手配している国内外事業者を調査・発掘し、当事業者に対して当地の魅力的なコンテンツを紹介することにより、商品の造成に繋がります。

その他、昨年度取得した移動データの活用、海外旅行博などを利用した海外営業、視察の受け入れなどを行うとともに、積極的に会員拡大を図ります。

設立して2年目を迎えます。まだまだ試行錯誤の状況が続いておりますが、少しでも成功事例を作りながら、一日でも早く地域の稼ぐ力を引き出す原動力になっていきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

収 支 予 算 書

第 2 期

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

一般社団法人豊岡観光イノベーション

(一社)豊岡観光イノベーション
損益計算書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

科目	金額		備考
売 上 高			
1) Visit Kinosaki 手数料	1,222,000		
2) ツアー等売上高	18,330,000		
3) 視察売上高	480,000		
4) 委託料収入	1,760,000		
5) 会費収入	1,180,000		
6) 市補助金収入	10,000,000		
7) その他	955,500	33,927,500	コワーキング運営等
売 上 原 価			
1) ツアー等売上原価	16,967,000		
2) その他	261,000	17,228,000	
売 上 総 利 益		16,699,500	
販売費および一般管理費		23,008,556	
営 業 利 益		▲ 6,309,056	
営 業 外 収 益	0	0	
経 常 利 益		▲ 6,309,056	

(一社)豊岡観光イノベーション
販売管理費明細

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

科目	金額	備考
給 料 手 当	4,344,000	嘱託職員1名、臨時職員1名分
賞 与 手 当	630,400	嘱託職員1名、臨時職員1名分
法 定 福 利 費	580,680	嘱託職員1名、臨時職員1名分
広 告 宣 伝 費	2,400,000	
旅 費 交 通 費	2,400,000	
会 議 費 ・ 交 際 費	240,000	
車 両 費	270,000	ガソリン代、電気自動車用電源工事
通 信 費	272,820	
租 税 公 課	120,000	
消 耗 品 費	600,000	
賃 借 料	1,992,000	事務所家賃、共益費(電気、ガス、ビルメンテナンス)
リ ー ス 料	674,616	パソコン、自動車(1台分)、電話
保 険 料	239,310	自動車保険(2台分)
支 払 手 数 料	245,360	講師謝礼、HPシステム
諸 会 費	50,000	
新 聞 図 書 費	5,000	
減 価 償 却 費	264,370	ソフトウェア、デスク
税 理 士 報 酬	300,000	
委 託 費	7,200,000	アドバイザー等
雑 費	180,000	
合 計	23,008,556	